

## 器官解剖学

責任者・コーディネーター	人体発生学分野 人見 次郎 教授		
担当講座・学科(分野)	人体発生学分野、細胞生物学分野、医学教育学講座、機能形態学分野		
担当教員	磯貝 純夫 准教授、燕 軍 講師、木村 英二 助教、齋野 朝幸 教授、小野寺 悟 非常勤講師、中野 真人 助教、枅 一毅 助教、阿久津 仁美 助教、佐藤 洋一 教授、藤村 朗 教授		
対象学年	2	区分・時間数	講義 58.5 時間
期間	前期		実習 48.0 時間

### ・学習方針（講義概要等）

解剖学 Anatomy は、生物を構成する物質（器官・組織・細胞・分子）のある時間軸におけるかたち（構造と構成）を明らかにし、その物質の働きやしきみ（動態・機能）を解析する。すなわち、形態を観察することにより、生物のダイナミクスを考察する学問分野である。解剖学の研究対象はあらゆる生物のあらゆる大きさの構造に及ぶが、器官解剖学では、講義と実習により人体の成り立ち（発生学）と、構成要素である器官（系統解剖学）とその組織（組織学）の正常構造の理解を深めていく。

### ・一般目標（GIO）

病気の成立機転を理解し、適切な治療方法を選択できるようになるためには、いろいろな生命現象がいつ、どこでおきているか理解していなければいけない。そのため、人体の基本構造を知り、器官の構成成分である組織と細胞の正常な形態と機能の基礎知識を講義と実習を通じて学ぶ。

### ・到達目標（SBO）

器官解剖学の講義と実習で要求される到達目標は多岐にわたるので、具体的な行動目標は日程表に記す。

### ・講義日程

(矢) 西 102 1-B 講義室  
(矢) 西 402 4-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/3	木	2	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	<p>系統解剖学・発生学 1 解剖学総論 体の基本名称</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 解剖学が医学においてどのような位置にあるか、述べることができる。</li> <li>2. 肉眼解剖学、組織学、系統解剖学、発生学、臨床局所解剖学、細胞生物学が、どのような観点からつくられた学問体系か、述べることができる。</li> <li>3. 冠状断、矢状断、水平断、近位、遠位の意味を述べることができる。</li> <li>4. 人体標本の倫理的な取扱注意事項をわきまえた行動ができる。</li> </ol>
4/3	木	3	人体発生学分野	人見 次郎 教授	<p>系統解剖学・発生学 2 初期発生</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受精から着床に至る経路を述べることができる。</li> <li>2. 胚盤胞の構成要素を述べることができる。</li> <li>3. 二層性胚盤と三相性胚盤の構成を説明できる。</li> <li>4. 胎盤と胎児を包む膜の構造を説明できる。</li> <li>5. 体軸の決定の過程を説明できる。</li> </ol>
4/8	火	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	<p>組織学 1 血液と骨髄</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 血液の発生</li> <li>2. 骨髄の構造と構成細胞</li> </ol>
4/10	木	2	人体発生学分野	木村 英二 助教	<p>系統解剖・発生学 3 循環器系肉眼解剖と発生</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心房壁と心室壁の特徴とその違いを説明できる。</li> <li>2. 房室弁と動脈弁の構造的違いを説明できる。</li> <li>3. 刺激伝導系の経路について説明できる。</li> <li>4. 冠状動脈・静脈の起始・走行・分布について説明できる。</li> <li>5. 心臓神経の起始・走行・分布を説明できる。</li> </ol>
4/10	木	3	人体発生学分野	木村 英二 助教	<p>組織学 2 心臓の組織学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 刺激伝導系</li> <li>2. 心臓の血管系</li> </ol>

4/15	火	1	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	系統解剖学・発生学4 頭頸部臓器構造と発生1 鰓弓1. 頭頸部と体幹部の違いについて述べる ことができる。2. 鰓弓の進化的起源 について述べる。3. 鰓弓を構成する 構造物と細胞の由来を列挙することが できる。4. 鰓弓に由来する器官と その起源を述べる。5. 鰓弓由来の 器官と支配神経の関係について述 べる。6. 鰓弓の先天性異常について 述べる。
4/15	火	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	系統解剖学・発生学5 体幹・四肢の発生
4/15	火	3	人体発生学分野	木村 英二 助教	組織学3 脈管系と脾臓の構造と機能1. 脈管系 に共通する構成要素を列挙し、その 意義を述べる事ができる。2. 脈管の 基本構造を同定できる。3. 脾臓の構 造と機能を説明できる。
4/17	木	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	系統解剖学・発生学6 中枢神経系の発生
4/17	木	3	人体発生学分野	人見 次郎 教授	組織学4 リンパ性器官 1. リンパ節 2. 扁桃 3. 胸腺
4/22	火	1	人体発生学分野	人見 次郎 教授	系統解剖・発生学7 循環器系肉眼解剖と発生1 1. 心房 中隔と卵円窩の成り方を説明でき る。2. 心室中隔と膜性部のでき方を 説明できる。3. 大動脈と肺動脈の 成り方を説明できる。
4/22	火	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	系統解剖学・発生学8 頭頸部臓器構造と発生2 脳下垂体、 甲状腺、他1. 頭蓋、顔面、舌の形態 形成について述べる。2. 脳下垂体、 副甲状腺、甲状腺の発生過程につ いて述べる。3. 脳下垂体と甲状腺 の機能を列挙することができる。4. 顔面、舌、脳下垂体や甲状腺等の 先天性異常について述べる。
4/22	火	3	人体発生学分野	人見 次郎 教授	組織学5 消化器系I（口腔）1. 口唇 2. 舌 3. 唾液腺 4. 咽頭 5. 口腔の支配神経
4/24	木	2	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	系統解剖学・発生学9 消化器系肉眼解剖と発生1 1. 口腔

					内構造（歯、舌、唾液腺など）の構造と機能を説明できる。2. 咽頭、食道の構造と機能を説明できる。
4/24	木	3	人体発生学分野	木村 英二 助教	組織学6 消化器系Ⅱ 歯の組織学
5/8	木	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学7 呼吸器系Ⅰ 1. 鼻腔と副鼻腔 2. 咽頭・喉頭 3. 気管と気管支
5/13	火	1	人体発生学分野	磯貝 純夫 准教授	系統解剖学・発生学10 循環器系肉眼解剖と発生 2 1. 体循環・肺循環と胎児循環の違いを説明できる。2. 大動脈弓の枝の起始・走行・分布と分岐形態の発生学的理由を説明できる。3. 腹大動脈の臓側枝の起始・走行・分布と分岐形態の発生学的理由を説明できる。4. 腹大動脈の外側枝の起始・走行・分布と分岐形態の発生学的理由を説明できる。5. 頭頸部と四肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。
5/13	火	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	系統解剖学・発生学11 呼吸器系肉眼解剖と発生 1. 気道の構造、肺葉、肺区域と肺門の構造を説明できる。2. 肺の機能血管（肺循環）と栄養血管の特徴を説明できる。3. 縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。4. 呼吸器の発生が説明できる。
5/13	火	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学8 呼吸器系Ⅱ（肺） 1. 肺胞の構造 2. 肺の血管系 3. 肺のリンパ性組織
5/15	木	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	系統解剖学・発生学12 消化器系肉眼解剖と発生 2 1. 腹膜と臓器の関係を説明できる。
5/15	木	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学9 消化器系Ⅲ 1. 食道 2. 胃 3. 十二指腸 4. 上部消化管の血管系と神経系
5/20	火	1	人体発生学分野	磯貝 純夫 准教授	系統解剖学・発生学13 循環器系肉眼解剖と発生 3 1. 主な静脈を図示し、走行経路を概説できる。 2. 下大静脈とその枝の分岐形態と発生学的理由を説明できる 3. 肝門静脈とその枝の分岐形態と発生学的理由を説明できる 4. 胸管を経由するリンパの流れを説明できる。

5/20	火	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	系統解剖学・発生学 1 4 消化器系肉眼解剖と発生 4 1. 各消化器官の位置、形態と血管を図示できる。2. 尿生殖膜と肛門の形成過程を説明できる。
5/20	火	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学 1 0 消化器系Ⅳ（小腸と大腸）1. 小腸の構造 2. 大腸の構造 3. 腸のリンパ性組織 3. 小腸と大腸の血管系・神経系
5/22	木	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	系統解剖学・発生学 1 5 消化器系肉眼解剖と発生 5 1. 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能、発生過程を説明できる。
5/22	木	3	人体発生学分野	人見 次郎 教授	組織学 1 1 消化器系Ⅴ（肝と膵）1. 肝臓の構造 2. 胆道系 3. 膵臓（外分泌腺）の構造 4. 肝臓と膵臓の血管系
5/27	火	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学 1 2 内分泌系Ⅰ（視床下部・下垂体系） 1. 内分泌腺の構造 2. 下垂体の構造 3. 下垂体の血管系 4. 松果体の構造
5/29	木	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	系統解剖学・発生学 1 6 泌尿生殖器系肉眼解剖と発生 1 1. 腎臓の位置・形態について説明できる。2. 腎臓への血管・神経の分布について説明できる。3. 尿管の位置・走行経路・形態について説明できる。4. 膀胱の位置・形態について説明できる。5. 尿道の経路・形態について説明できる。6. 尿道の男女差について説明できる。
5/29	木	3	人体発生学分野	人見 次郎 教授	組織学 1 3 泌尿器系Ⅰ（腎） 1. 腎の構造 2. 腎の血管系
6/3	火	3	人体発生学分野	人見 次郎 教授	組織学 1 4 内分泌系Ⅱ（副腎と甲状腺）1. 副腎の構造と血管系 2. 甲状腺の構造と血管系 3. 上皮小体の構造
6/5	木	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	系統解剖学・発生学 1 7 泌尿生殖器系肉眼解剖と発生 2 1. 男性生殖器を図示し、説明を加えることができる。2. 女性生殖器の形態を図示し、説明を加えることができる。

6/5	木	3	人体発生学分野	人見 次郎 教授	組織学15 泌尿器系Ⅱ (尿管・膀胱) 1. 尿路と膀胱の構造
6/10	火	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学16 男の生殖器Ⅰ 精巣の構造
6/12	木	2	医学教育学講座 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	佐藤 洋一 教授 人見 次郎 教授 磯貝 純夫 准教授 燕 軍 講師 木村 英二 助教 齋野 朝幸 教授 中野 真人 助教 枅 一毅 助教 阿久津 仁美 助教	系統解剖学・発生学 プレテスト
6/12	木	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学17 男の生殖器Ⅱ 精巣附属器・精嚢・前立腺の構造、陰茎の構造
6/17	火	3	人体発生学分野	木村 英二 助教	組織学18 女の生殖器Ⅰ 1. 卵巣の構造 2. 子宮の構造 3. 卵巣と子宮内膜の周期的変化
6/19	木	3	人体発生学分野	木村 英二 助教	組織学19 女の生殖器Ⅱ 1. 子宮と胎盤
6/24	火	1	人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学20 組織学プレテスト
6/24	火	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	組織学21 内分泌系Ⅲ 消化管の内分泌系

【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/3	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	総論 MCQ 基礎力確認テスト 総論の復習と脈管の観察 (課題)
4/8	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習1 血液と骨髄 1. 血液の塗沫標本の作成と観察 2. 骨髄の観察それぞれ構成細胞を同定し、その特徴を図解で

					きるようにスケッチする。
4/10	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 2 1. ブタの心臓の外景と内景の観察とスケッチ。血液の流れを理解する。 2. 心臓の刺激伝導系の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。
4/15	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 3 1. 脈管系：脈管の基本構造を理解し、同定できる。脈管系の構成要素の観察・同定・スケッチする。2. 脾臓の構造を観察し、組織の構成と構成細胞の特徴や分布を図解できるようにスケッチする。
4/17	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	組織学実習 4 リンパ性器官 1. リンパ節 2. 扁桃 3. 胸腺 それぞれ器官の構造を観察し、組織の構成と構成細胞の特徴や分布を図解できるようにスケッチする。
4/22	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 5 消化器系Ⅰ（口腔）1. 口唇 2. 舌 3. 唾液腺 4. 咽頭 5 それぞれの組織の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。
4/24	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	組織学実習 6 消化器系Ⅱ 歯の組織の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。
5/8	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	組織学実習 7 呼吸器系Ⅰ 1. 鼻腔と副鼻腔 2. 咽頭・喉頭 3. 気管と気管支それぞれの組織の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。
5/13	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 8 呼吸器系Ⅱ（肺）肺胞の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。
5/15	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授	組織学実習 9 消化器系Ⅲ 1. 食道, 2 胃, 3 十二指

			人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	腸それぞれの組織の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。
5/20	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 10 消化器系Ⅳ（小腸と大腸）1. 小腸の構造 2. 大腸の構造それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。
5/22	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	組織学実習 11 消化器系Ⅴ（肝と膵）1. 肝臓の構造 2. 胆道系 3. 膵臓（外分泌腺）の構造それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。
5/27	火	1	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	骨学 1 概論 1. 骨の各部の名称を述べるができる。2. 骨組織を構成する細胞を列挙し、機能を述べるができる。3. 置換骨と膜性骨の種類とできかたを対比して述べるができる。体幹骨講義 4. 体幹骨の種類を述べるができる。5. 椎骨の基本構成要素を述べるができる。6. 骨盤を構成する骨を述べるができる。骨のチェック 実習 7. 骨標本で欠損があるかどうかを判定できる。
5/27	火	2	医学教育学講座 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	佐藤 洋一 教授 人見 次郎 教授 磯貝 純夫 准教授 燕 軍 講師 木村 英二 助教 齋野 朝幸 教授 中野 真人 助教 柘 一毅 助教 阿久津 仁美 助教	骨学実習 1 体幹骨実習 1. 各椎骨を同定して並べることができる。2. 各肋骨を同定できる。3. 胸郭を構成する骨を並べることができる。4. 骨盤を構成する骨を並べることができる。5. 骨盤をもとに性の同定ができる。
5/27	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 12 内分泌系Ⅰ（視床下部・下垂体系） 1. 下垂体前葉の構造 2. 下垂体後葉の構造 3. 松果体の構造それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。

5/29	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	組織学実習 1 3 泌尿器系 (腎) 1. 腎の構造 それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。
6/3	火	1	人体発生学分野	燕 軍 講師	骨学 2 上肢骨 1. 上肢帯と自由上肢骨を並べることができる。2. 上肢帯と自由上肢骨の突起と粗面に付着する筋肉と腱を述べることができる。3. 鎖骨に付着する筋肉を述べるができる。4. 上腕骨の骨折で障害を受ける神経を述べるができる。5. 上腕骨のねじれを説明できる。6. 代表的な手根骨を同定できる。
6/3	火	2	医学教育学講座 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	佐藤 洋一 教授 人見 次郎 教授 磯貝 純夫 准教授 燕 軍 講師 木村 英二 助教 齋野 朝幸 教授 中野 真人 助教 栴 一毅 助教 阿久津 仁美 助教	骨学実習 2 上肢骨実習 1. 上肢帯と自由上肢骨を並べることができる。2. 上肢帯と自由上肢骨の突起と粗面に付着する筋肉と腱を述べるができる。3. 鎖骨に付着する筋肉を述べるができる。4. 上腕骨の骨折で障害を受ける神経を述べるができる。5. 上腕骨のねじれを説明できる。6. 代表的な手根骨を同定できる。
6/3	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 1 4 内分泌系 II (副腎と甲状腺) 1. 副腎の構造 2. 甲状腺の構造 3. 上皮小体の構造それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。
6/5	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	組織学実習 1 5 泌尿器系 II (尿管と膀胱) 1. 尿路と膀胱の構造それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。
6/10	火	1	人体発生学分野	燕 軍 講師	骨学 3 下肢骨 1. 下肢帯と自由下肢骨を並べることができる。2. 下肢帯と自由下肢骨の突起と粗面に付着する筋肉と腱を述べることができる。3. 代表的な足根骨を同定できる。
6/10	火	2	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	骨学実習 3

			人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 磯貝 純夫 准教授 燕 軍 講師 木村 英二 助教 齋野 朝幸 教授 中野 真人 助教 枅 一毅 助教 阿久津 仁美 助教	下肢骨実習 1. 下肢帯と自由下肢骨を並べることができる。2. 下肢帯と自由下肢骨の突起と粗面に付着する筋肉と腱を述べるができる。3. 代表的な足根骨を同定できる。
6/10	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 1 6 男の生殖器 I 精巣の構造 それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。
6/12	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	組織学実習 1 7 男の生殖器 II 1. 精路の構造 2. 陰茎の構造それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。
6/17	火	1	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	骨学 4 脳頭蓋：1. 頭蓋底の各部の名称を述べるができる。2. 頭蓋底に空いている孔を通る構造を述べるができる。3. 頭蓋骨の溝を形成する構造を述べるができる。4. 頭蓋冠の縫合と泉門を述べることができる。5. 脳頭蓋の各部の名称を述べるができる。
6/17	火	2	医学教育学講座 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	佐藤 洋一 教授 人見 次郎 教授 磯貝 純夫 准教授 燕 軍 講師 木村 英二 助教 齋野 朝幸 教授 中野 真人 助教 枅 一毅 助教 阿久津 仁美 助教	骨学実習 4 頭蓋骨（頭蓋底）実習 1. 頭蓋底の各部の名称を述べるができる。2. 頭蓋底に空いている孔を通る構造を述べるができる。3. 頭蓋骨の溝を形成する構造を述べることができる。4. 頭蓋冠の縫合と泉門を述べることができる。5. 脳頭蓋の各部の名称を述べることができる。6. 脳頭蓋底のスケッチができる。7. 大脳鎌と小脳テントを模擬的に作ることができる。

6/17	火	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 阿久津 仁美 助教	組織学実習 18 女の生殖器 I 1. 卵巣の構造 2. 子宮の構造それぞれの構造の構成細胞を観察・同定し、細胞と組織の構造の特徴を図解できるようにスケッチする。その際、血管との関係に注意する。
6/19	木	1	機能形態学分野	藤村 朗 教授	骨学 5 顔面頭蓋、歯：1. 顔面頭蓋の各部の名称を述べるができる。2. 顔面頭蓋の各裂孔を通る構造を述べるができる。3. 眼窩を構成する骨を述べるができる。4. 顎関節の特徴を述べるができる。5. 歯の同定ができる。
6/19	木	2	医学教育学講座 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	佐藤 洋一 教授 人見 次郎 教授 磯貝 純夫 准教授 燕 軍 講師 木村 英二 助教 齋野 朝幸 教授 中野 真人 助教 枡 一毅 助教 阿久津 仁美 助教	骨学実習 5 頭蓋骨（顔面頭蓋）実習 1. 顔面頭蓋の各部の名称を述べるができる。2. 顔面頭蓋の各裂孔を通る構造を述べるができる。3. 眼窩を構成する骨を述べるができる。4. 顎関節の特徴を述べるができる。5. 歯の同定ができる。6. 顔面頭蓋のスケッチができる。
6/19	木	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 木村 英二 助教 小野寺 悟 非常勤講師 阿久津 仁美 助教	組織学実習 19 女の生殖器 II 胎盤の構成細胞と構造を観察・同定し、図解できるようにスケッチする。
6/26	木	1	医学教育学講座 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	佐藤 洋一 教授 人見 次郎 教授 磯貝 純夫 准教授 燕 軍 講師 木村 英二 助教 齋野 朝幸 教授 中野 真人 助教 枡 一毅 助教 阿久津 仁美 助教	骨学 6 標本試験＋口頭試問 1. 実際の骨を同定できる。2. 教員の骨学に関する質問に応えることができる。
6/26	木	2	医学教育学講座 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	佐藤 洋一 教授 人見 次郎 教授 磯貝 純夫 准教授 燕 軍 講師 木村 英二 助教 齋野 朝幸 教授 中野 真人 助教 枡 一毅 助教 阿久津 仁美 助教	骨学実習 6 標本試験＋口頭試問 1. 実際の骨を同定できる。2. 教員の骨学に関する質問に応えることができる。

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準組織学 各論 4版	藤田恒夫、藤田尚男 著	医学書院	2010
教	人体解剖学：Human Anatomy 改訂 42 版	藤田恒太郎 著	南江堂	2003
教	ラングマン人体発生学 10 版	T. W. Sadler 著、安田峯生 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2010
教	骨学実習の手びき 4 版	寺田春水、藤田恒夫 著	南山堂	1992
教	入門組織学改訂第 2 版	牛木辰男	南江堂	2013
教	標準組織学 総論 4 版	藤田恒夫、藤田尚男 著	医学書院	2002
推	カラーアトラス組織・細胞学	岩永敏彦 著	医歯薬出版	1990
推	解剖学総論 / 運動器系 2 版 (プロメテウス解剖学アトラス)	Michael Schünke ほか著、坂井建雄、松村譲児 監訳	医学書院	2011

・成績評価方法

試験の成績が 80%（筆記および口頭による試験）、実習（PBL を含む）の評価（個人が提出した実習記録（スケッチ）とレポートを点数化）が 20%の割合で評価する。尚、試験の範囲は SBO に記載されたものとする。また、授業の単元ごとに小テストを課す場合がある。

・特記事項・その他

既に 1 年次に履修した細胞生物学・基礎組織学では、形態・機能・物質の 3 要素を常に一体化して勉強したことからわかるように、生命科学においては多方面の分野の統合化が求められている。人体のどこにどのような器官（特定の機能を果たす構造単位）が含まれるか、またそれはどのような機能を果たしているかを学ぶのが系統解剖学であり、器官の基本的構造である細胞と間質が寄り集まってできている組織の構造と機能を学ぶのが組織学である。また、生命体の構造的成り立ちを理解するの

が、発生学である。系統解剖学、組織学、発生学、と別れていた三領域を統合して、器官・系ごとに系統的に講義と実習をおこなうのが、器官解剖学である。また、器官解剖学は、臨床画像診断と密接に関わり合いを持つことから、実際の解剖実習に先立ち、Virtual Dissection（仮想解剖）をおこなう。解剖学的位置関係の把握が、臨床医学において如何に重要かを認識したうえで臨床解剖学へ進む。また病気の発生機転を学ぶ病理学では、正常組織を理解していることが前提となっていることから、先行して組織学実習をおこなう。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	PC 画面投影装置	2	講義
実習	ノートパソコン	2	講義
実習	骨標本	130	実習
実習	Zeiss 顕微鏡	130	実習

フォームの終わり